



# 平成30年度 森林総合監理士育成(後期)

## 研修の概要

1. 研修日程: 平成30年10月2日～10月5日
2. 研修会場: ホテルサン人吉(熊本県人吉市)
3. 現地実習: 人吉市大畑国有林74ち林小班外
4. 参加者: 20名(内訳) 県職員 12名  
市町村職員 1名  
林業事業体職員 1名  
国有林職員 6名

### 研修目標

地域の森林の保全・整備及び林業の成長産業化を推進するため、森林・林業に関する広範囲な知識・技術、コミュニケーションや指導方法を習得して、市町村森林整備計画の作成や実行監理等が適切に実施できる森林総合監理士の育成を図るものです。

### 森づくり構想演習

#### 目標林型と施業方法の選択

木材生産機能と公益的機能を調和させながら、科学的・技術的な知見と森づくりの思想・理念にそった森林施業・森林管理が基本であることについて理解を深めます。



九州大学溝上先生による講義

#### 現地踏査の様子



#### 構想のとりまとめ発表の様子





### 循環利用構想演習

1,000haの団地を対象  
に間伐計画と林業専  
用道の配置を検討  
(机上演習)



### 現地踏査の様子

机上演習で林業専  
用道の配置等を検討  
した1,000ha程度の団  
地を対象として、現地  
条件に応じて、地形  
の遠望、地質及び水  
系の確認、周辺の土  
地利用における社会  
条件等を観察、確認  
し、現地調査の方法  
及びポイントを習得す  
る。



### 発表・ディスカッション 等の様子



現地実習で確認した団地を対象として、10年間にわたる経営ビジョンを様々な観点から検討し、集約的かつ効率的な森林整備の戦略を策定し、地域の将来ビジョンを描き、プレゼンテーション能力を養う。

